

第2回まち・ひと・しごと創生本部会議事録
(平成26年10月10日(金) 9:00～9:10 於：官邸4階大会議室)

【石破大臣】

ただいまから、第2回まち・ひと・しごと創生本部を開催いたします。

前回の本部会合では、総理からの御指示を受けて作成したまち・ひと・しごと創生本部の基本方針を決定させていただきました。

この度の臨時国会では、この基本方針の内容を踏まえた、まち・ひと・しごと創生に当たっての基本理念などを盛り込んだ「まち・ひと・しごと創生法案」を提出させていただいており、来週火曜日の衆議院本会議で審議入りすることとなりました。

また、関係府省からは、地方創生に向けたそれぞれの基本的方向性と具体的取組について、本日は時間の関係で御発言いただくことはできませんが、机上にお配りした資料という形で御報告いただいております、各大臣の多大なる協力に深く感謝申し上げます。

そこで今回は、年内に取りまとめを予定しております「長期ビジョン」及び「総合戦略」に関する論点を提示させていただきます。

お手元に、「長期ビジョン」と「総合戦略」の論点として考えられる項目をまとめた資料をお配りいたしました。が、「長期ビジョン」は50年後を見据え我が国の将来展望を示すもの、また、「総合戦略」は今後5か年の政府の施策の方向性を示すものとして、人口減少克服・地方創生に向けた具体的取組のベースになるものです。

各大臣におかれましては、これらの論点を踏まえて各自の取組を検証・検討し、年内の取りまとめに向けて御尽力いただきたいと思います。

また、私の下に基本政策検討チームを立ち上げて、有識者の方々とともに地方公共団体の首長を交え、これまでの政府の取組についての検証や関係府省からのヒアリングを行っているところですが、その結果については、近々取りまとめることとしております。

本日お示しした論点と、ただ今申し上げた基本政策検討チームの取りまとめ結果については、第2回まち・ひと・しごと創生会議において民間有識者の方々も交えて御議論いただきたいと思いますと考えております。

まち・ひと・しごと創生本部は、「バラマキ排除」や「縦割り排除」など、基本方針で定められている姿勢を今後も貫徹してまいりますので、各大臣のご協力を今後ともお願い申し上げます。

それでは、最後に、総理から御発言をいただきたいと思います。プレスが入室いたしますので少々お待ちください。

安倍総理、それではよろしく申し上げます。

【安倍総理】

本日提示した論点に即し、11月の本部会合では将来展望を示す「長期ビジョン」と5か

年の施策の方向性を示す「総合戦略」の骨子を決定してまいります。

これを受け、当面の地域活性化対策を年内の予算編成と合わせて取りまとめるとともに、来年は中長期的な構造問題に取り組んでいきます。今国会での議論も踏まえ、地方の目線で地方のやる気を引き出す内容としていくよう検討をお願いします。

現在、創生本部を中心に、これまでの取組を検証していただいているところです。今後、これらを踏まえつつ、これまで各省がバラバラに遂行していた地方創生施策を転換し、石破大臣のもとで各省の重複の徹底排除や効果の薄い施策の見直しを検討していただきますので、各閣僚のご協力をお願いします。

また、各地域の活性化策を推進するに当たっては、東京中心の経済政策とは異なる取組が必要です。このため、ビッグデータを活用した地域特性の客観的な分析も踏まえ、地域主導の提案をワンストップで支援し、資金的手当てだけでなく、関連の制度改革や、スキルを持った人材を地方で確保するとともに、本社機能の移転など、企業の地方拠点を強化するといった点に留意して具体策の検討を進めていただきたいと思います。

引き続き、各本部員の格別のご尽力をお願いします。

【石破大臣】

ありがとうございました。プレスの方はここで御退室ください。

以上をもちまして、第2回まち・ひと・しごと創生本部を終了させていただきます。どうもありがとうございました。

(以 上)